

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年7月9日
事業者名:	株式会社ホクコウ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	「ICTとAIの力で、誰一人取り残さない教育と働き方を実現する」ことを目標に、教育DXを通じた持続可能な社会づくりに取り組んでいます。自社開発システムを活用し、出席状況や学習データを分析することで、学生一人ひとりに応じた学習支援や退学リスクの早期把握を支援し、教育機会の充実と格差の縮小に貢献します。また、AIを活用した業務効率化やペーパーレス化、テレワーク・フレックスタイム制度の推進により、働きやすい職場環境と環境負荷の低減を図っています。さらに、地域の学校へのICT・AI活用支援やDXセミナーを通じ、地域社会との共創を推進し、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。		④質の高い教育をみんなに,⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑧働きがいも経済成長も	令和7年度 ペーパー使用量 10%削減 大学・専門学校向け教務システムの開発・提供を通じ、教育DXを推進している。 AIを活用した教育支援システムの開発を進め、学生一人ひとりに応じた学修支援や業務効率化に取り組んでいる。 クラウドサービスやWeb会議を活用し、ペーパーレス化と業務のデジタル化を推進している。 現在、働き方改革のもと、フレックスタイムの導入検討を行っている。また、休憩時間などを実態に合わせて修正し、退勤時間を早くしてプライベートの充実に取り組んでいる。	指標	メソフィアAX・メソフィアX導入校 ○数 ペーパー使用量 ○%削減 年間残業時間 ○%削減 社用車 ハイブリット社の導入 ○%
					目標	令和11年度までに、メソフィアAX・メソフィアX導入校数10校を目指します。また、令和8年度比でペーパー使用量を20%、年間残業時間を10%削減するとともに、社用車のハイブリッド車導入率を50%まで引き上げ、環境負荷の低減と業務効率化を推進します。
社会	ICTとAI技術を活用した教育DXの推進を通じ、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。自社開発システム「メソフィアAX」「メソフィアX」により教育機関の業務効率化と学習支援を行うとともに、AI活用による業務改善、ペーパーレス化、働き方改革を推進しています。また、地域の教育機関へのICT・DX支援を通じて、地域社会の発展と人材育成に貢献しています。		④質の高い教育をみんなに,⑫つくる責任 つかう責任,⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	令和7年度 AI・ICTシステム開発件数 1件 当社は、教育DXを通じて質の高い教育（目標4）の実現に取り組み、自社開発システム「メソフィアAX」「メソフィアX」を教育機関へ提供しています。また、AIやICTを活用したシステム開発により、産業と技術革新（目標9）を推進しています。さらに、電子契約や会議資料の電子化などペーパーレス化を進め、紙資源の使用削減による環境負荷の低減（目標12）を実践しています。	指標	メソフィアAX・メソフィアX導入校 ○数 ペーパー使用量削減率 ○% AI・ICTシステム開発件数 ○件
					目標	令和11年度までに、メソフィアAX・メソフィアXの導入校数を10校とします。また、令和8年度比でペーパー使用量を20%削減するとともに、AI・ICTを活用した自社システムの開発・導入を継続し、毎年1件以上の新たなサービスを提供します。
経済	当社は、自社開発システム「メソフィアAX」「メソフィアX」の提供を通じて、教育機関や地域社会のDXを推進し、生産性向上と業務効率化に貢献しています。また、AIを活用した新サービスの開発や地域企業との連携を進めることで、新たな付加価値の創出と地域経済の活性化を図り、持続可能な経済成長と技術革新に取り組んでいます。		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう,⑫つくる責任 つかう責任,⑰パートナーシップで目標を達成しよう	令和7年度 メソフィアAX・メソフィアX試験導入校数 2校 自社開発システム「メソフィアAX」「メソフィアX」の開発を進め、教育機関への導入・実証に取り組んでいます。また、AIを活用した業務効率化システムの開発や教育機関へのDX提案を継続して実施しています。社内では会議資料の電子化や電子契約を推進し、ペーパーレス化による業務効率化と環境負荷の低減にも取り組んでいます。	指標	メソフィアAX・メソフィアX導入校数
					目標	令和11年度までに、メソフィアAX・メソフィアXの導入校数を10校、新規取引先を2社増加させるとともに、AI・ICTを活用した自社システムを毎年1件以上開発・提供し、教育DXの推進と地域産業の発展に貢献します。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ SDGsの重点取組は毎年度の経営計画に反映し、全社員へ経営計画や部門会議を通じて共有しています。各部門で目標を設定し、導入校数やペーパー使用量などの指標を定期的に確認・評価しています。また、定例会議や定期的な進捗確認により、計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Act）のPDCAサイクルを継続的に実施し、目標達成に向けた改善活動を推進しています。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 事務所の受付にて、取組みを掲示している。 当社ホームページにSDGsへの取組方針や重点取組、目標・実績を掲載し、自社開発システム「メソフィアAX」「メソフィアX」を通じた教育DXの推進や環境負荷低減への取組を対外的に公表します。また、取組状況を定期的に更新し、ステークホルダーへの情報発信を継続します				